



パンを作ろう！

甲賀市に専任手話通訳者が配置され、様々な形で聴覚障がい者の支援を行っています。

生活支援センターあかつきで実施されている「ほっとサロン」での仕事に同行してみました。

ほっとサロンは、聞こえない話せないことによって近所の人たちとのコミュニケーションがとれないことにより、家に閉じこもりがちな聴覚障がい者の社会参加を支援することを目的として、さまざまな事業をされています。

今回のほっとサロンは「パンを作ろう!」ということで、ブルームの丘でのパン作りです。一般のパン教室は健聴者対応で進められるので、参加してもついていけないかもしれませんが、このほっとサロンでは、聴覚障がい者の聞こえないこと話せないことに合わせた内容で進められるので、安心して参加することができます。

最初は不安だった参加者の皆さんも、先生の丁寧な指導と、通訳者によって楽しく進んでいき、ふっくらおいしいパンができ上がりました。

参加された方に感想

「上手につくれるか不安やったけど、おいしくできあがってとてもうれしい。」

「甲賀市に手話通訳者がいるので安心して参加することができる。」

「いつも同じ通訳者なので、とても安心。」

専任手話通訳者が配置され、ほっとサロンでの支援もスムーズに行えるようになりました。

聴覚に障がいを持つ方への情報保障の第一歩として配置した専任手話通訳者。聞こえない方たちが、聞こえる方たちと同じように社会参加できる環境を整えるためにも、今後も大いに活用してください。

【連絡先】 社会福祉課 福祉政策係 ☎ 65-0700 FAX 63-4085

みんなの窓

宇川会館では、「手話講座」を毎月一回開催しています。現在、初心者コースに園児1名、小学生15名、大人2名が、経験者コースに小学生16名、中学生1名、大人1名が受講しています。

滋賀県立ろう話学校の先生をされていた角田先生の指導で手話コーラスなどを取り入れた楽しい手話講座を開講しています。また、手話とは関係ありませんが、会館近くの空き畑を利用して、希望者に「季節の野菜作り」も体験講座として同時開設しています。毎年1回、実際に聴覚障がい者と直に接する機会として、

習った手話を活用する機会として「聴覚障がい者サロン(ほっとサロン)」「生活支援センターあかつき主催」との交流会をもっています。今年8月22日(月)、生活支援センターにて「うちわ作り交流会」として、使えなくなったうちわを利用して、自分流のうちわ(マイうちわ)をいろいろな材料を使い、工夫と想像力で創作しました。今回は夏休みということもあって参加者は10名、手話による自己紹介から始まり、支援センター指導員(聴覚障がい者)による指導のうちわ作りが始まりました。約2時間、当館受講生とサロン参加者がお互いに教えあったり、批評しあいながら世界にひとつしかないマイうちわを作り上げました。でき上がった作品を参加者全員の前で「なぜこの作品を作ったのか」「作ってみてどう思ったか」そして今日の感想を手話通訳者の方にサポートしてもらいながらできる手話で発表して交流会を終えました。短い時間で障がい者とのコミュニケーションを持つ時間も充分ではありませんでしたが、手話を学ぶだけでなく、聴覚障がい者と実際に手話を通してのふれあいができたことは手話を学ぶ以上に大切なことを体験できたように思います。



活気あふれるまちのステーション・地域総合センター

手話で楽しく交流

ほっとサロンとマイうちわ作りで交流

宇川会館(水口町)



【問い合わせ】 人権教育課
☎ 86-8024 FAX 86-8380
宇川会館
☎ 62-4109 FAX 62-4109